

いずみさの  
教育



問合先  
学校教育課

ICT教育について

ICTとは、コンピュータやインターネットなどの情報通信技術の総称です。7月に文部科学省より出された「教育の情報化加速化プラン」ICTを活用した「次世代の学校・地域」の創生」の中では、近年、身の回りのものにICTが活用されたり、日常生活の情報収集やコミュニケーションなどがICTを通じて行ったりすることが当たり前となつていくことに触れ、目指す方向を「子どもたちがICTを受け身でとらえるのではなく、手段として積極的に活用していくこと」としています。

泉佐野市の小・中学校でも普通教室のインターネット環境が整い、小学校は各教室に教師用ノートパソコン、書画カメラ、大型テレビ、デジタル教科書が導入されています。中学校のパソコン教室のパソコンの入替も順に行っています。

学習指導におけるICT活用は、教職員の使用と児童生徒の使用に分けられます。教職員による使用では、授業の中で学習に対する興味・関心を高めるためにプ

ロジェクターや大型テレビを活用して写真や動画を提示したり、わかりやすく説明するために小さなものを見やすく拡大掲示したりします。また、一人ひとりに課題を明確につかませるために、児童生徒のノートを書画カメラを通して大型テレビに映し、いろいろな考え方を共有したり、体育や音楽で児童生徒の動きや演奏をデジタルビデオなどで撮影し、その様子を見返すことで改善点や工夫点を気づかせたりするなどといった活用方法もあります。

児童生徒による使用は、学習ソフトを用いて漢字や計算などの定着を図ったり、映像と音声を繰り返し示して英単語の発音の定着を図ったりといった活用方法があります。また、プレゼンテーションソフトを用い、調べたことや資料を示しながら、自分の考えをまとめ、発表するといった活動も行つていきます。

教育活動の中の効果的なICT活用により、授業改善を図るとともに、子どもたちが情報化社会を主体的に生き抜く力を培うことを目指しています。

学校園紹介



未来の社会の創造と発展のための主体者を育てる  
～第二小学校～

本校では、一人ひとりの未来のためにどんな力をつけさせるのかを見据えた教育を行っています。具体的に、次のような取組を行っています。

【子どもたちの学力を高める取組】

- 教員の授業力向上（研究授業の充実）
- 話し合い活動を核とし、「仲間とともにわかる・できる」授業づくり



【子どもの社会性を育む取組】

- 「二小 伸びる子 10の力」「セカンドステップ」
- 自分で生活や学習の習慣づくりができる子どもの育成

【生徒指導について】

- 子ども主体、子ども同士をつなぐ取組（授業・学校行事・学年行事・学校生活）
- 子どもの言動の背景を知り、愛ある子どもとの関わり

【子どもの主体性を大切にしたい特別活動の取組】

- 運動会や二小フェスティバルなどの行事で、子どもの自主自立をめざす

【人権教育について】

- 人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする意識・態度を育て、すべての子どもが大切にされる教育
- 日本の文化や外国の文化について学び、違いを認め合う子どもの育成（国際理解教育）

【地域との連携】

- 地域のみなさんによる通学路での交通見守り、あいさつ運動
- 小ざくらネット（町会、福祉委員会、民生児童委員など）と協働し、地域ぐるみで子どもを育てる
- 地域のみなさんに支えていただいている実感を持たせ、郷土を愛する心を育てる
- 地域交流行事（交流給食会・昔遊び体験・戦争体験聞き取り・地域に



佐野中いじめ撲滅5か条  
～佐野中学校～

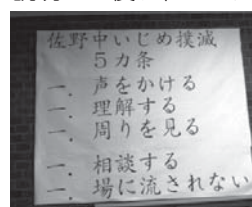
本校では今年度の重点目標である「互いに認め合いつながりあい高め合う質の高い生徒集団の育成」を目指して、

- 授業改善の推進
- 学習環境の整備
- 集会指導の充実

の3点の重点課題を中心に取組を進めています。



9月には生徒会が主体となって「いじめ撲滅のための集会」を開きました。事前に実施したアンケート結果を基に、佐野中のいじめの現状について、映像などの資料を用いて説明した後、「いじめについて自分はどのように考えているのか」



「いじめをなくすためにどのように取り組んでいくのか」について、生徒会執行部が自分自身の言葉で全校生徒にアピールを行いました。この集会の後、全学年が同じ教材を用いていじめについての授業を行い、自らの「行動宣言」について考えとともに、学級での話し合いをうけて、生徒会では「佐野中いじめ撲滅5か条」を策定しました。

今回のように、いじめについて生徒自らが主体的に解決に取り組んでいく過程を通じて、いじめを許さない気運が学校文化として育まれていき、本校の目標である「質の高い生徒集団」へと近づいていけるものと確信しています。私たち教員も子どもたちの活動をしっかりとサポートするとともに、家庭とも連携していじめの未然防止・早期解決に努めてまいります。

